



コード(分野)	2001
メニュー名	地震と防災についての学習
校園名(学年)	近江八幡市立武佐小学校 第6学年
講師・支援者等	滋賀県地震防災市民ネット
学習名	命を守りぬく防災学習
教科等	総合的な学習の時間・国語科
実施日	令和4年 6月8日(水)9:30~11:35 晴れ

《授業の流れ》

テーマ「命を守り抜く防災学習」(地震) ~<防災かるた>を作ろう~

1 講師の質問に答える

「今まで地震を経験したことがありますか」→ 全員「ある」

「どんな感じだった?怖かった?」 → 「少し揺れた」「怖くなかった」

2 今日のめあてを確認する

「今日は命の大切さについて考えます。その中で大切になるのは支え合い、助け合うといった思いやりです。災害の時だけでなく、いざという時には、当たり前のように人を思いやる気持ちが行動に移せるようにしましょう。」

3 地震についての基本的な内容を学習する

- ・日本では毎日地震が、1日平均30回から50回起きている話を聞く。
- ・マグニチュードと震度の関係を、テレビから流れる音に喩えて説明を聞く。
<マグニチュード=テレビの音量、震度=聞こえる音の大きさ>
- ・マグニチュードの大きさが1違うとエネルギーは31.6の2乗ずつ強くなる
<2.0の差だと約1000倍の強さになる。>

4 阪神・淡路大震災の映像で考える

- ・いかに日頃の備えが大切かを実感してもらうことで、日ごろの実践に繋ぐ。(早朝であったこと、備えがなかったことが被害の大きさにつながったことも知る)



5 児童からの質問

~業間休み~

6 プレートと断層について知る…地震の起こる仕組みの話

- ・プレート(地殻)…日本は、地球で12枚の内4枚が地形の下に潜む。
- ・琵琶湖西岸断層…比良山系(地震でできた山並み)は神戸と類似(六甲山)

- ・県内にはたくさんの断層がある（写真を提示）
- ・以上の地形の関係から、いつ、どこで地震が起こるかわからない！！

7 講師の体験談を聞く（仙台のマンションにて、宮城沖地震に遭遇された経験）

8 緊急地震速報について知る

- ・実際に流す…1秒から5秒前に放送が入ることから、この短い間に何ができるかを考える→3秒で自分の身を守れることを知る

9 まとめをする

- ・いざという時にどうすればいいかを ①考える ②やってみる
- ・「命を守り抜く」ために…自然災害は避けられない。しかし、被害を少なくする努力や工夫はできる。
- ・「命の大切さ」のために、①一日一日を大切にすごすこと！
②思いやりの気持ちを育むこと！
（自分自身を大切に思えること）

10 宿題について知る

防災かるたを考えよう。

《感想》

児童

「地震の起きる仕組みがよく分かった。」

「普段訓練している時に油断があると知った。」

「最初は地震のことについて気にしていなかった。また、地震なんて怖くないと思っていたけれど、地震の恐ろしさを知り家族ともしっかり話し合わなければならなかった。」

「地震が来ても、焦らず落ち着いて行動し、今日の勉強を生かしていきたい。」

「正しい身の守り方や避難の仕方、非常食の準備等について、家族と話し合いたい。」



学校

「子どもたちには、できる限り外部からのいい刺激を受けて、これからの生活に結びつけて行ってほしいと思います。地震の学習とは言え、ありとあらゆる学びにつながる学習になってよかった。」

「このような学びを通じて、どんどん視野を広げ、自分の生き方に自信をもって周りの人たちへの感謝や思いやりも育んでほしい。」

支援者・講師

「話が長かったにもかかわらず、最後まで集中力を切らさず、所々頷きながら聞いてくれてよかった。いかに日頃からの備えが大切か伝わっていれば嬉しい。先入観の少ない子どもたちが、大人やこれからの人たちに、正しいことを伝えていって欲しい。そして、今という時間を大切にしてほしい。」